

久留米工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	世界史
科目基礎情報				
科目番号	1200	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	材料工学科(2016年度以前入学生)	対象学年	2	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	川北稔ほか『新詳新世界史B』帝国書院			
担当教員	岡本 和也			
到達目標				
1. 古代から現代に至るまでの大きな歴史の流れを把握すること。 2. 上述の目的を達成するために、教科書の記述の中で関心があることについて、批判的に検討し、何らかの問題を設定できるようになること。 3. その問題について、調べ、その結果得た自分の見解を論理的に説明したレポートを作成できるようになること				
ルーブリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
歴史の流れの理解	古代から現代に至るまでの大きな歴史の流れを理解できる	古代から現代に至るまでの大きな歴史の流れを思い出すことができる	古代から現代に至るまでの大きな歴史の流れを理解していない	
批判的検討と問題設定	教科書の記述を批判的に検討し、何らかの問題を設定できる	教科書の記述を批判的に検討できる	教科書の記述を批判的に検討できない	
レポート作成	自分の見解を論理的に説明したレポートを作成できる	論理的に不十分ではあるが、自分の見解を説明したレポートを作成できる	自分の見解を論理的に説明したレポートを作成できない	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	歴史的知識を獲得することを通じて、論理的思考力を養い、論理的な文章を作成する能力を向上させること。			
授業の進め方・方法	授業は基本的に配布するプリントを中心に行う。教科書は各自適宜参照すること。			
注意点	評価基準：60点以上を合格とする。再試験は行わない。			
授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	イントロダクション	授業内容を理解する
		2週	古代文明と世界地図について	古代文明と世界地図について理解する
		3週	エジプト文明とピラミッドについて	エジプト文明とピラミッドについて理解する
		4週	ピラミッドに関する論述問題	ピラミッドに関する論述問題の解答を書く
		5週	レポートの書き方について	授業の課題となるレポートについて理解する
		6週	レポートの書き方～構想メモを書く～	構想メモを書く
		7週	レポートの書き方～文章を書く～	構想メモを書く
		8週	古代ギリシア文明について	古代ギリシア文明について理解する
	2ndQ	9週	アレクサンドロスと現代の戦争（特にイラク戦争）について	アレクサンドロスと現代の戦争について理解する
		10週	ローマの形成と発展について	ローマの形成と発展について理解する
		11週	古代の終焉とローマの衰退について	古代の終焉とローマの衰退について理解する
		12週	聖書と現代に至るまでのキリスト教について	聖書と現代に至るまでのキリスト教について理解する
		13週	定期試験に関する説明と復習	これまでの内容を復習し、理解する
		14週	レポートの返却とその解説	作成したレポートの評価を理解する。
		15週	定期試験に関する質問の時間	定期試験の内容に関して質問し、理解する
		16週		
後期	3rdQ	1週	クルアーンと現代に至るまでのイスラームについて	クルアーンと現代に至るまでのイスラームについて
		2週	冷戦終結以降の世界の構図について	冷戦終結以降の世界の構図について
		3週	レポートの書き方～構想メモを書く～	構想メモを書く
		4週	レポートの書き方～文章を書く～	構想メモを書く
		5週	現代に至るまでの歴史の大きな流れとビザンツ帝国について	現代に至るまでの歴史の大きな流れとビザンツ帝国について理解する
		6週	一神教と多神教について～聖像崇拜禁止令を題材に～	一神教と多神教について理解する
		7週	十字軍と現代中東の歴史について	十字軍と現代中東の歴史について理解する
		8週	十字軍と現代の戦争について	十字軍と現代の戦争について理解する
	4thQ	9週	モンゴル帝国と中世アフロ・ユーラシア世界について	モンゴル帝国と中世アフロ・ユーラシア世界について理解する
		10週	ベストと中世ヨーロッパについて	ベストと中世ヨーロッパについて理解する
		11週	ルネサンスと近代の始まりについて	ルネサンスと近代の始まりについて理解する
		12週	大航海時代とそれ以降のヨーロッパの世界進出について	大航海時代とそれ以降のヨーロッパの世界進出について理解する
		13週	定期試験に関する説明と復習	これまでの内容を復習し、理解する
		14週	レポートの返却とその解説	作成したレポートの評価を理解する。
		15週	定期試験に関する質問の時間	定期試験の内容に関して質問し、理解する
		16週		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地歴	産業活動（農牧業、水産業、鉱工業、商業・サービス業等）などの人間活動の歴史的発展過程または現在の地域的特性、産業などの発展が社会に及ぼした影響について理解できる。	1	後7,後8,後9,後10,後11,後12
				人間活動と自然環境との関わりや、産業の発展が自然環境に及ぼした影響について、地理的または歴史的観点から理解できる。	2	後9,後10,後11,後12
				社会や自然環境に調和した産業発展に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	1	後9,後10,後11,後12
				日本を含む世界の様々な生活文化、民族・宗教などの文化的諸事象について、歴史的または地理的観点から理解できる。	2	前12,後1,後6
				国家間や国内で見られる、いわゆる民族問題など、文化的相違に起因する諸問題について、地理的または歴史的観点から理解できる。	3	前9,前12,後1,後2,後5,後6,後7
				文化の多様性を認識し、互いの文化を尊重することの大切さを理解できる。	2	前9,前12,後1,後2,後5,後6,後7
			地歴・公民	現代科学の考え方や科学技術の特質、科学技術が社会や自然環境に与える影響について理解できる。	1	前9,後2,後5,後10
				社会や自然環境に調和し、人類にとって必要な科学技術のあり方についての様々な考え方について理解できる。	1	後10
				今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解できる。	2	前9,前12,後1,後2,後5,後6,後7
				環境問題、資源・エネルギー問題、南北問題、人口・食糧問題といった地球的諸課題とその背景について理解できる。	1	後10,後11,後12
				国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	1	前9,後2,後5,後10,後11,後12

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	50	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0